

適用規格								
定 格	使用温度範囲		-55℃ ～ +85℃ (95%RH MAX)		保存温度範囲		-55℃ ～ +85℃ (95%RH MAX)	
	電 力		———— W		特性インピーダンス		50Ω (0 ～ 12.4GHz)	
	特 殊 性		————		適合ケーブル		————	
性 能								
	項 目		試 験 方 法		規 格		QT	AT
構造	外観, 構造, 仕上げ		目視, 寸法測定器にて測定する。		図面と合致していること。		○	○
	表示		目視にて確認する。				○	○
電 氣 的 性 能	接 触 抵 抗		100 mA (DC OR 1000 Hz) 以下で測定する。		中心コンタクト 7 mΩ以下 外部コンタクト 7 mΩ以下		○	○
	絶 縁 抵 抗		DC 500Vで測定する。		5000 MΩ以上		○	○
	耐 電 圧		AC1000Vの電圧を1分間印加する。(漏洩電流2mA以下)		せん絡・絶縁破壊がないこと。		○	○
	電 圧 定 在 波 比		周波数 0.045 ～ 12.4 GHzにて測定する。		VSWR 1.05+0.01f [f:GHz] 以下		○	—
	挿 入 損 失		周波数 ～ GHzにて測定する。		dB以下		—	—
機 械 的 性 能	単 体 挿 抜 力		S側 φ1.68 ⁰ _{-0.005} の鋼製ピンで測定する。		差込力 — N以下 引抜力 2 N以上		—	○
	単 体 挿 抜 力		HRM側 φ0.91 ^{+0.005} ₀ の鋼製ピンで測定する。		差込力 — N以下 引抜力 1.5 N以上		—	○
	繰 り 返 し 動 作		1000 回の抜き差しを行う。		① 接触抵抗: 中心コンタクト 16mΩ以下 外部コンタクト 16 mΩ以下 ② 破損, ひび, 部品のゆるみがないこと。		○	—
	耐 振 性		周波数 ～ Hz, 片振幅 mm, 加速度 m/s ² で 軸方向各 サイクル 試験する。		① μs以上の電氣的瞬断がないこと。 ② 破損, ひび, 部品のゆるみがないこと。		—	—
	耐 衝 撃 性		加速度 m/s ² , 持続時間 ms, 正弦半波 軸方向各 回試験する。				—	—
	ケーブルクランプ 部の引っ張り強度		— N以下の引張力をケーブル軸に加える。		① ケーブルの抜けや断線等のないこと。 ② クランプ 部の破損がないこと。		—	—
	温湿度サイクルの 耐湿性		温度 ～ °C, 湿度 ～ %中に サイクル(時間) 放置する。		① 絶縁抵抗: MΩ以上(高温時) ② 絶縁抵抗: MΩ以上(乾燥時) ③ 破損, ひび, 部品のゆるみがないこと。		—	—
環 境 的 性 能	温 度 サ イ ク ル		温度 → → → °C 時間 → → → 分 を サイクル試験する。		破損, ひび, 部品のゆるみがないこと。		—	—
	塩 水 噴 霧		濃度 5 %の塩水, 48 時間放置する。		はなはだしい腐食がないこと。		○	—
△	△の数	訂正記事		設計		検図		年月日
0								
備考					承認	IJ. MITANI	07. 02. 20	
RoHS適合品					検 図	KY. SHIMIZU	07. 02. 20	
試験規格の記載のない試験方法はJIS C 5402を適用している。					担 当	TS. NISHIYAMA	07. 02. 19	
					製 図	TS. NISHIYAMA	07. 02. 19	
注 QT: 確認試験 AT: 製品検査 ○: 適用項目				図番	SLC4-007917-40			
HRS	製 品 規 格 表			製品名	HRM-506S (40)			
	ヒロセ電機株式会社			製品コード	CL311-0139-9-40		0△	1/1